



第12回

# できる! っていうときは

～ can の使い方～

学習のポイント

- canを使って、～ができると表現できる
- canを使って、相手に依頼することができる

英語監修・執筆 鳥飼慎一郎

## can を使って、～ができると表現できる can を使って、相手に依頼することができる

### ■コミュニケーション

私たちは言葉を使ってさまざまな社会生活を営んでいます。時として相手に対して何かお願いをしたり、依頼をしたりすることがありますが、そのようなときは「～して」などと直接的に言うことをせずに、「～していただけませんか」などと丁寧な言い方をします。英語でも同様で、直接的に **Open the window.** などと言わずに、「～することができる」という意味の **can** を使って、**Can you open the window?** と相手に対してお願いをします。この文を文字通りに訳せば、「窓を開けることができますか」と相手の能力を聞いています。

英語では、このように相手に対して丁寧にお願い事をするときに、相手の能力を聞く表現を用いることがよくあります。これが英語の丁寧な表現ということです。言語が変われば、丁寧さを表す「表現方法も変わる」ということです。

**Can you open the window?** は、「窓を開けていただけませんか」という丁寧な依頼の表現ですが、もちろん **please** を使って **Please open the window.** と言っても同じような丁寧な依頼の表現になります。**Can you open the window?** は、時として **please** 付けて、**Can you open the window, please?** ということもあります。このことはまさに、**Can you open the window?** が相手の能力を聞くのではなく、依頼の表現として用いられていることを如実に物語っています。

### ■単語や表現

[1] **can** は、「(体を使って) ～ができる」ということを言うことができます。例えば、重い石を動かすことができる、あるいはできないなどという意味の会話では、

A: Oh, this stone is so heavy. I cannot move it. Can you move it?

B: Of course, I can. Oh, no. No, I can't.

「あなたは、この重い石を動かすことができますか？」

Can you move this heavy stone?

- [2] **can** は、「(頭を使って) ~ができる」ということを言うことができます。難しい問題を解くのに苦労している友達同士の会話では、

**A: This question is difficult. I cannot find the answer.**

**B: Let me see. This is a bit difficult, but I can help you. We can find the answer together.**

頭を使って、問題が解けるかどうかいろいろと考えているようですね。

**Can you answer this question?**

「あなたなら解けますか？」

- [3] **can** は、同じ「できる」でも、世の中の仕組みがそうなっているのでできる、ということもあります。例えば、今では定期券 (IC カード) で飲み物が買えますね。

**A: Surprising! We can buy a coffee with a commuter pass.**

**B: Didn't you know that? We can buy a book too. It is convenient.**

なるほど、定期券でいろいろなものが買えるのは便利です。

- [4] 同じ「~することができる」と言っても、「そうすることが可能だ」、あるいは「そうしましょう」と提案する意味もあります。

**A: Oh, It's lunchtime. We can talk about our trip to Nara after lunch.**

**B: We can talk about the time schedule too.**

「お昼の後に、奈良への旅行について話すことができる」、ということは、「話しませんか」、と暗に提案していることです。会話では結構曖昧に物を言うこともあります。それに対して、相手も、「日程について話すことができます、話しましょう」、と提案しています。

- [5] **can** は、「~してもいいですか」、「~しましょうか」と相手からの許可や同意を求めるときにも使います。

**A: Excuse me. Can I sit here?**

**B: Of course. Can I get you tea or something?**

「ここに座ることができますか」ということは、「ここに座ってもいいですか」と相手に聞いていることです。「お茶か何かを持ってくることができますか」とは、「お茶でもお持ちしましょうか」と申し出ていることです。**can** を使うととても丁寧な会話ができます。

英語ではどう言うかで、同じ文でも意味が違ってきます。

**Can I have some tea?**

これは、丁寧な口調で言えば、「お茶をいただけますか」とお願いをしている意味になりますが、強く言えば「お茶を持って来て」と命令調になります。

### ■英語のきまり

**can** を使った文では、動作を表す語は元の形にもどして使います。

**My grandfather rides a horse.**

この文は、「私のおじいさんは馬に騎ります」という意味です。**my grandfather** は、I 自分で

もない、**you** 相手でもなく、一人の人ですので、動作を表す語の後に **-s** をつけて使います。

この文に「~ができる」という意味の **can** を付けて、「私のおじいさんは馬に乗ることができます」という意味の以下の文にすると、動作を表す語の **rides** は、元の形の **ride** にもどして使います。

**My grandfather can ride a horse.**

このことは、便利屋さんの **does** を使って質問の文や打消しの文を作るときに、動作を表す語の最後についている **-s** を取って、元の形にもどして使うのと同じです。

**My grandfather rides a horse.**

**Does my grandfather ride a horse?**

**My grandfather does not ride a horse.**

このように、**can** や **does** を使った文では、動作を表す語の最後につける **-s** を消して使います。

## column

## アルファベットと発音 ⑫

## U u

ユーと発音しますが、最初に軽くイを付けるようにして、イユーと発音すると上手に発音できます。この **U** や **u** は、語の中ではアと発音されることが大変多いです。例に出ている **up** や **under** も、アップ、アンダーと発音します。勉強するという **study** もスタディーと発音します。

イギリスの方言の中には、**U u** をウと発音する地域があります。その方言で発音しますと、**up** はウップ、**under** ウンダー、**study** はストウディー、となります。英語の発音の仕方も方言によってだいぶ変わってくるということです。



## V v

ヴィーとしかカタカナでは書きようがありませんが、実際の発音の仕方は、上の歯を下唇の上にのせて、声を出して発音します。**F f** の発音では、上の歯を下唇の上にのせて発音するところまでは同じですが、声を出して発音しない点が異なります。

よく、**V v** の発音は、**B b** の発音と間違われますが、**B b** の発音は上唇と下唇を一度しっかりと閉じて、声を出しながら勢いよく息を出して発音します。一方、**V v** の発音は、どこも閉じられることがなく、息が常に上の歯と下唇の間から漏れています。例に出ている語の **Van** は、上の歯を下唇の上にのせて声を出しながら発音しますが、これが **Ban** であれば、一度上唇と下唇を閉じた後に、勢いよく声を出しながら発音します。バーンと爆発しているような感じで、発音します。

